

74 地域が輝くための応援団

【き】 地域そのものが博物館！

北はりま地域の豊かな自然や歴史文化、さらには伝統産業のほか、住民の生活そのものまでも含めた有形・無形の地域資源を博物館のサテライトとして登録・展示し、支援することで地域を元気にしようと、住民主体のNPO法人「北はりま田園空間博物館」を平成14年度に設立しました。

【概】 サテライト巡回講座

平成16年7月25日、八千代町俵田集落を訪ねるツアー「サテライト巡回講座 都市と農村の交流のさとづくりをめざして、俵田地区17年の歩み」を実施しました。

受け入れ先のサテライトである俵田地区のみなさんが、訪れた人たちに、自分たちの地域やそこでの活動を、パワーポイントを使って分かりやすく説明しました。

【成】 サテライト支援のモデルケースになりました

俵田地区の人たちは、今回の活動を通じて、長年地域で取り組んできた活動を分かりやすく伝える手法を身に付けました。それによってますます活動に対する意欲も高くなっているようです。

私たちはパワーポイントの簡単な技術指導をした程度で、資料の作成から参加者への報告まで、ほとんど俵田地区の人たちが自分で取り組みました。「自分たちでやればできる」ということを俵田地区の人たちは実感しました。

【夢】 サテライトの自発的な取り組みを応援したい

私たちの活動目的の1つに「サテライトを支援する」というのがあります。直接活動を手伝ったり、代わりに活動をしてあげるのではなく、あくまでサテライトの自立的な取り組みを、その自立性を損ねない範囲でお手伝いすることが私たちの目的です。

俵田地区のように自分たちから声上がるケースがたくさん出てきて、それぞれのサテライトが自立的に活動し、地域が元気になるようお手伝いできればと思っています。



巡回講座での現地説明



パワーポイントを使った活動報告

NPO法人北はりま
田園空間博物館

代表者氏名：丸山好一
活動地域：西脇市、多可郡
事務所等：西脇市寺内字天神池571-1
電話番号：0795-25-2370
FAX番号：0795-22-2123
ホームページ：
<http://www.k-denku.com>

組
ん
だ
団
体
等
と
も
に
取
り
組
む

俵田地区のひとたち

私たちが総会でパワーポイントを使っているのを見て、自分たちもこれを使って活動のPRと記録に生かしたいと申し出がありました。



厳しい審査でスタッフが育つ

私たちの組織では、重要な決定をするときには、まず5つある部の長が集まる部長会議で審査されます。たとえば、「事務量が膨大だからもう一人スタッフがほしい」というスタッフからの要望があれば、本当にそれが必要なのか？他の方法で効率化を図ることはできないのか？どんな仕事を任せられるスタッフが良いのか？なぜそれが良いのか？などなど、厳しく問われます。それらについてきちんと明確に答えることができなければ、決定権のある理事会に提案できません。

物を買うときでも同じなので、コストも削れるところは徹底的に削っています。このしくみがあることで、スタッフもいい加減な仕事はできませんし、どんどん成長していきます。



ピンチはチャンス

今現在でもそうですが、特に初期の頃は、活動はすべて手探りでした。スタッフを雇いたいけど契約はどんな風にしたら？必要経費を請求するしくみはどうしよう？広報誌はどんな風につくろう？などなど、分からないことだらけでした。

私たちは、それを活動をステップアップさせるチャンスととらえ、何か困ったことが起きれば、その解決策をひとつずつルール化していきました。ピンチはチャンスなのです。

求ム!

事例のようなサテライト巡回講座の企画から運営まで関わってもらえるスタッフを募集しています。

また、サテライト巡回講座に参加してくれる方も募集しています。参加者が多ければ多いほど、受け入れ先のサテライトの励みと自信になります。今後の日程などについてはお問い合わせください。



ほたるの幼虫の放流体験

読者の皆さんへのメッセージ

紹介した事例は一例に過ぎず、私たちは地域の方々と一緒に地域づくりを進めています。「私たちはここが好きです それをあなたに伝えたい」こんな思いを込め、地域を巡るバスツアー、体験教室など、さまざまなイベントを企画しています。これらの情報をお求めの方は、北はりま田園空間博物館にお越しいただくか、ホームページをご覧ください。